

伝統に根ざした国際競争力の再生

長く続いた日本の好景気もついに変局点を迎え、米国発の金融不安が世界中に大きな影響を与えています。いまやあらゆる面で日本は世界と密接につながっており、グローバル化が私達の日常に浸透しています。また、地球規模の資源や自然環境変化の課題に対して、日本だけでなく世界のために何ができるかを考えなければいけない時代が来ようとしています。それらを実現するためのひとつの手法・考え方がプロジェクトマネジメントです。かつて米国は日本の成長に学び、プロジェクトマネジメントを導入して現在まで飛躍的な成長を遂げてきました。しかし、その成長も今岐路に立たされています。本フォーラムでは、日本がこの複雑であいまいな状況に立ち向かい、再び国際社会でリーダーシップを発揮して、希望のもてる未来を切り拓くことをめざして、伝統を育む地、京都でプロジェクトマネジメントの可能性を考えます。「伝統に根ざした国際競争力の再生」と題して、プログラムを準備しております。参加される皆さまにおかれましては、基調講演そして各セッションを通じて、多くの「気づき」を得ていただき、明日からの行動に活かしていただきたいと思っております。

基調講演

1 クオリア時代

基調講演

10:00~

堀場 雅夫

株式会社堀場製作所 最高顧問

クオリア時代とは何か。人間ひとりひとりの深く高度な質感(クオリア)に価値を置く新しい社会とはどういう社会なのか。これから人々が求めるものは。人間の知と感性を生かすためにこれからの日本の産業はなにを提供できるのか。また企業家の目指す道は。



【講師略歴】1924年生まれ。堀場製作所創業者、現同社最高顧問。1946年京都帝国大学理学部物理学専攻卒、61年医学博士号取得、在学中起業し、学生ベンチャーの草分け的存在。53年同社代表取締役社長、78年代表取締役会長、95年取締役会長、2005年から現職。(財)京都高度技術研究所最高顧問、京都ナノテク事業創成クラスター本部本部長、京都市ベンチャー企業目利き委員会委員長など要職に就き起業家育成に注力。1982年藍綬褒章受賞、2006年「ピッツコン・ヘリテージ・アワード」を米国人以外で初めて受賞など数多の受賞歴。

2 分権時代における標準化と行政経営イノベーション

基調講演

11:00~

猿渡 知之

京都府副知事

経済のグローバル化や少子高齢社会の到来の中で、住民の生活を守る最後の砦として、地方自治体の使命は益々重くなっている。一方、財政環境は厳しさを加え、また、住民参画の開かれた行政が求められている。そこで、多様な分権時代を支える行政経営の在り方と、逆説的だが、より重要となる標準化の意義について考える。



【講師略歴】1985年東京大学法学部卒業後、自治省(現総務省)に入省。その後自治省固定資産税課長補佐、青森県企画部理事、総務省自治政策課理事官、同課情報政策企画官、京都府総務部長などを経て、2006年5月より現職。